

暮らしの中から
環境問題を考える

▲昨年は300キロのジャガイモが収穫できた

平田裕之

グリーンプロジェクトは、何気ない暮らしの中に「エコの視点」を採り入れることで、ゴミ問題や都市の温暖化などの問題解決をめざして活動している市民団体です。活動の拠点は、足立区と協働で管理・運営をしている六町エコプチテラス。区画整理事業用地として長年放置されていた700坪の土地を「環境問題の啓発活動の拠点」として、暫定的に活用しています。

エコプチテラスには、「ビートアイランド拘束と収穫を目的とした25本のキウイフルーツや、生ゴミリサイクルを目的としたエコ農園、メダカやヤゴなどが観察できるビオトープなどが設置され、無理なく環境を考えるしかけがなされています。エコプチテラスを活用することで、台所から出る生ゴミが堆肥となり、風呂の残り湯が水のリサイクルとなり、外に出ている時間がふえることで電気やガスの節約にもなっています。

市民レベルで環境対策を充実させるためには、エコ活動の楽しさを体験してもらおうのがいちばんと、現地でのイベントへの参加も呼びかけています。

(足立グリーンプロジェクト代表)